業務に対し、目的・目標を明確化し、スケジュールを立てて上司と相談する。また、各業務の中でマイルストーンを設け、進捗報告を行う。

立案した目標に向け自ら考え実行できたが、スケジュールに遅れが発生する場面があった。また、顧客や上司の期待や要求と自身の認識にズレがあり、定性的な視点で説明できない場面があった。

業務を行う上で必要な知識やスキルを自ら収集し、業務に反映する。また、部内で解決できない問題は、社内関係者やメンターに相談し、解決する。

業務上の困りごとを上司に相談し、解決できない場合は部外の方に相談し、問題に対処する事ができた。一方で、問題に対し、多角的に対策を立てる視点が欠けていた。

業務内容を理解し、課題に対し定量的・定性的に評価・分析を行い、課題解決に向けて論理的な考察を行う。また、相手の意見・要望を正確に汲み取り、課題解決に向け周囲に働きかける。

周囲のメンバーとコミュニケーションを取り、業務上の問題に対し、自分の考え・意見を持ち報告を行うことができた。一方で、関係部署に対し、自分の要望を相手にうまく伝えられていない場面があった。

テーマ：機電一体熱連成環境の構築

熱連成解析業務の引き継ぎとして、連成解析の手法を理解し、設計者に対しその効果や利点を説明できるようにする。具体的には、機電一体モータに搭載される駆動回路の熱設計において、熱回路網を構築することでモータ駆動時の自己発熱及び相互の熱干渉の影響を考慮した素子の発熱をシミュレーションし、駆動回路のレイアウト設計への活用を目指す。

3月末までに

熱連成解析環境構築の業務引き継ぎを行った。実測結果を反映させたMOSの過渡熱抵抗のシミュレーション値をもとに、matlab/simulink上で熱回路網を構築し、

過渡熱抵抗の合わせこみ工数削減に向けたキャリブレーション機能の評価